

千種区ってこんなまち



【千種公園】
遊具やテニスコート、野球場、ジョギングコースを完備。5月下旬から6月下旬には、12,000株ものユリが花を咲かせます。



【中央走行方式バスレーン】
混雑時によるバスの遅れなど、路線バスの抱える様々な問題を解決するために、専用のバスレーンが設置され、全国で初めて中央走行方式が採用されました。



【鍋屋上野浄水場】
大正3年以降、現在も給水施設として稼働中。名古屋で最初に造られた近代水道施設のひとつで、英国から直輸入した赤レンガを用いて造られています。



【茶屋ヶ坂公園】
約4,000株ものアジサイの花が植えられており、6月に見ごろを迎えます。



【東部医療センター東市民病院】
市立5病院の中核的な病院として、高度医療・専門医療の充実を図るとともに、地域の医療機関との連携を推進しています。



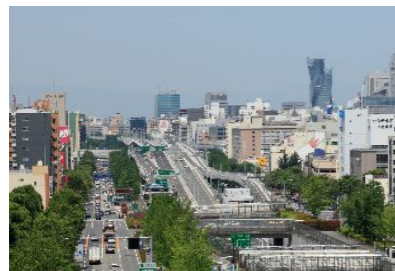
【今池都市景観形成地区】
商業・娯楽・文化などが混ざり合うまちの特性をいかし、親しみとふれあいのあふれる個性あふれる都市空間とするため、景観形成基準を設けています。



【平和公園アクアタワー】
南部の丘陵地は一般公園となっており、市内でも有数の桜の名所として知られています。また、公園の北側に建つアクアタワーでは、土・日曜、休日に展望室を開放しており、地上40mからの景色を楽しめます。



【なごや東山の森づくり】
東山公園および平和公園一帯の丘陵地において、東山動物園を核に、緑豊かな自然を生かした総合的な公園の整備をすすめます。



【名古屋高速道路】
約81.2kmの整備計画に対し、平成22年〇月〇日現在、約85%に当たる約69.2kmが完成しており、残りの約12.0kmについても早期整備に向け事業を進めています。



【区役所】
平日に加えて、毎月1回原則第1日曜日(1月・5月は最終第2日曜日)と、3月の最終・最終前の日曜日に転入・転出に関する窓口業務を行っています。



【東山給水塔】
昭和5年築造。昭和48年まで付近一帯に給水する配水塔として利用されていた円筒形の給水塔です。現在は、災害用の応急給水施設として常時300m³の水が蓄えられています。



【寛王山 日泰寺】
タイ王国から寄贈された仏舎利(釈迦の遺骨)を安置するために、明治37年に創建されたお寺で、「日泰」は日本とタイ王国を表しています。



【揚輝荘】
大正から昭和初期に建設された別荘で、庭園と建物が平成19年3月に本市に寄贈されました。本修復整備が進められており、歴史・文化資産として保存・活用に取り組んでいます。



【四谷都市景観形成地区】
坂・緑・曲線を描く街路、資・社・寺や店舗、大学など、源を活かし、自然・歴史・感性豊かな都市空間とするため、景観形成基準を設けています。



【東山動物園】
約60ヘクタールの広さを誇る緑豊かな東山動物園。動物園では人気者のココアラから小さなメダカまで約550種の動物を、植物園では約7,000種の植物を展示しています。